

埼玉県立循環器・呼吸器病センターだより

発行：埼玉県立循環器・呼吸器病センター（地域医療連携室）

〒360-0197

埼玉県熊谷市板井1696 電話048-536-9900

【ごあいさつ】

紅葉の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

3月の新館棟オープンから半年が過ぎ、順調に経過しております。また、9月27日からリニューアルしたCCU（冠疾患集中治療室）も稼働を開始。各病棟の面積を拡大し、心臓カテーテル後の患者様に十分なケアができるゆとりのある広さになりました。今後は透析室の整備へと少しずつ体制を整えているところです。

今年度の病診連携会も開始されました。今後さらに地域との連携を深め取り組んでまいりたいと思っております。

病院長 星 永進

病診連携会を開催

【秩父郡市医師会様】

9月13日（水）に秩父郡市医師会様との病診連携会を開催しました。

当日は、秩父郡市医師会36名、当センター14名、合計50名の先生方に参加していただきました。はじめに、近藤会長より、当センターとの連携をより一層深めていきたいと、ご挨拶をいただきました。

講演では、循環器内科宮本副部長が「利尿薬の使い方～新しい利尿薬に期待するもの～」を、消化器外科神山科長兼副部長が「当院における抗血栓薬内服中患者の上部消化管疾患のマネジメント」を発表しました。情報交換会では、初めに各医師が順番に自己紹介を行い、その後、活発な意見交換が行われ、大盛況な情報交換会となりました。



【熊谷市医師会様】

9月26日（火）には、熊谷市医師会様と病診連携会を開催し、熊谷市医師会からは22名、当センターは17名、合計39名の先生方に参加していただきました。今年度は、会場を医師会隣接の看護専門学校とし、長又会長より、今回の病診連携会は、当センターとの連携をさらに強化するために、熊谷市医師会と当センターによる手作りの病診連携会にしたとご挨拶をいただきました。

講演では、呼吸器内科高久医長が「喘息・COPD診療における効果的な医療連携のこつ」を、リハビリテーション科洲川科長兼部長が「当院でのリハビリテーションのこころみ」を発表しました。情報交換会も、今まで以上に親密な雰囲気で行うことができました。

今後も、各医師会との病診連携会を通して、より一層、連携を深めていければと思っております。



循環器内科下肢血管外来のご案内

【恐ろしい動脈硬化】

近年、急激な食生活の欧米化、高齢者人口の増加に伴い、動脈硬化性疾患の増加や低年齢化を認めるようになってまいりました。動脈硬化を増悪させる因子としては、生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常症)、喫煙が知られています。これらの疾患はサイレントキラー(沈黙の殺人者)と呼ばれ、その多くで自覚症状が少なく、突然心筋梗塞や脳卒中を発症し、致命的な状態になる可能性があります。

動脈硬化の恐ろしいところは、症状が出た時にはすでに血管に狭窄や閉塞を認めているということです。またどこか一か所に動脈硬化性病変を認める患者様は、既にほかの部位にも動脈硬化が進行している可能性が高くなります。症状のない患者様の場合、積極的に全身を検査しないと病変の早期発見は困難です。

中でも下肢の動脈硬化性疾患である閉塞性動脈硬化症は、冠動脈疾患/脳血管疾患の合併率が高いことで知られています。閉塞性動脈硬化症の患者様の場合、下肢の阻血が原因で亡くなる方はほとんどおりません。閉塞性動脈硬化症の患者様の5年の死亡率は約30%で、死因の約50%は心筋梗塞です。生活習慣病患者、動脈硬化性疾患を有する患者様には積極的な全身血管疾患のスクリーニングと厳重なリスクコントロールが必要になります。

循環器内科 鈴木 輝彦



【循環器内科での治療】

我々循環器内科では虚血性心疾患と生活習慣病の治療を行ってきた長年の経験を生かし、心臓だけではなく全身血管のトータルマネージメントを行うようになってまいりました。閉塞性動脈硬化症の患者様に対しては、下肢症状改善はもちろん、予後を改善することを念頭に、心臓を含めた全身の血管の検査、治療を行っています。

また、閉塞性動脈硬化症の治療についても、近年大きく変化しております。以前は閉塞性動脈硬化症の治療は、放射線科と血管外科の先生がメインで行っておりました。しかし、ここ10-15年、循環器内科医が多く治療に参入するようになり、技術、治療器具ともに急激に発展しています。冠動脈疾患のカテーテル治療で培った技術で、以前はカテーテル治療が困難であった病変も、現在では多くの病変が治療可能となりました。閉塞性動脈硬化症は高齢の患者様に多い疾患ですので、カテーテルによる治療の低侵襲化は患者様の負担を大きく軽減します。当院循環器内科では、カテーテル治療を1泊ないし2泊で行っています。入院期間の短縮により、本人ばかりではなくご家族の負担も軽減できると思われれます。

循環器内科下肢血管外来では、上記のような閉塞性動脈硬化症の患者様に加え、深部静脈血栓症に対するカテーテル治療(経カテーテル的血栓溶解術、腸骨静脈圧迫症候群に対する経皮的血管形成術)についても積極的に行っております。

閉塞性動脈硬化症、深部静脈血栓症の診断には、ABI(手足の血圧の同時測定)や血管エコー検査、CT、MRIを行います。患者様の状態に合わせてオーダーメイドで精査いたします。いずれの検査も外来で簡単に行うことが可能です。下肢の症状(冷感、しびれ、間欠性跛行、疼痛、浮腫等)でお困りの際はぜひご相談ください。

循環器内科下肢血管外来は、毎週金曜午前に行っておりますが、月曜から金曜までの循環器内科一般外来でも対応可能です。また重症の患者様については緊急で対応させていただきます。

喘息教室・COPD（慢性閉塞性肺疾患）教室について

当センターでは、周辺地域の喘息や COPD（慢性閉塞性肺疾患）の在宅患者様の病状悪化を予防することを目的に、喘息教室・COPD 教室をそれぞれ年1回ずつ開催しております。

喘息教室を開催しました！

今回は喘息教室を平成 29 年 6 月 28 日（水）に治療棟 2 階カンファレンスルームにて開催し、多数の患者様にご参加いただきました。

教室の内容は、

- ①喘息の基礎知識
- ②喘息症状のコントロール方法や治し方
- ③吸入薬使用のコツ、喘息発作時の対処法

など普段の外来診察ではご説明しきれないことまで医師、看護師、薬剤師がわかりやすくご説明しました。

また、参加者の方々の療養上の悩みや疑問にも、それぞれ丁寧にお話させていただきました。参加者の方々へのアンケートでは回答者全員から「参考になった」とのご意見いただき、大変ご好評いただけたものと考えております。



COPD 教室を開催します

平成 29 年 10 月 18 日（水）、25 日（水）の 2 日間にかけて、COPD 教室を開催いたします。

内容は

- ①COPD がどういったものなのか
- ②日常生活の工夫
- ③栄養をどのように摂取すればよいのか

等について各医療スタッフが専門的かつ分かりやすくご説明させていただきます。

当センターの患者様以外でもお気軽に参加いただけますので、是非ご参加ください。

COPD 教室に参加を希望される場合は、下記の連絡先までご連絡ください。

事務局 医事・経営担当

☎048-536-9900 内線 2101

受付時間 平日 8:30～17:00

お電話の際に、COPD 教室に参加したい旨をお伝えください。

平成29年10月2日

外来診療スケジュール

診療科	診察室	月		火		水		木		金		
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
循環器内科	本館⑥	肺血管外来		藤原 堅祐	藤原 堅祐	樺 敬人		利根川玲奈	心臓カテコイルドレーン (第2週)			
	本館⑦	村上 彰通	村上 彰通	中島 崇智	中島 崇智	鈴木 輝彦	鈴木 輝彦	河邊 篤彦		藤井 真也	藤井 真也	
	本館⑧	宮本 敬史	宮本 敬史	武藤 誠	武藤 誠	宇野 剛輝	宇野 剛輝	武藤 誠		永吉 信哉	永吉 信哉	
	本館⑨	福島 啓介		弁膜症外来	石丸 安明	今井 忍		ペースメーカー (第5週休診)	ペースメーカー (第5週休診)		下肢血管外来	
	本館②					菱谷 隆						
腎臓内科	本館①							清水 泰輔				
	本館②		山本 亮									
	本館⑦							清水 泰輔				
	本館②			花井 信	花井 信			小野口勝久				
心臓外科	本館③							田口 真吾	田口 真吾		成人先天性心疾患 (第2週のみ)	
	本館②									山城 理仁 (第5週休診)	山城 理仁 (第5週休診)	
血管外科	本館②										百川 文雄(午前)(第1・3・5週) 閉塞性動脈硬化症・静脈瘤(午前)(第2・4週)	
	本館③			墨 誠	動脈瘤 閉塞性動脈硬化症							
	本館①											
脳神経外科	本館③	埼玉医大脳卒中 外科医師									埼玉医大脳卒中 外科医師	
	本館⑤	伏原 豪司									池田 俊貴	
	新館⑩	倉島 一喜		倉島 一喜				太田 池恵			西田 隆	
	新館⑪	小田島丘人		鍵山 奈保		高柳 昇	高柳 昇	高柳 昇			鍵山 奈保	
	新館⑫	石黒 卓		柳澤 勉		柳澤 勉	石黒 卓	石黒 卓			中元 康雄	
呼吸器内科	新館⑮	高久洋太郎		河手絵理子		河手絵理子	高久洋太郎	高久洋太郎			河手絵理子	
	新館⑯	太田 池恵		吉田 悠貴		山田真紗美	小島 彩子	小島 彩子				
	新館⑦		黒澤 永 (院外紹介)				黒澤 永 (他科依頼)	黒澤 永 (外来再診)				
呼吸器外科	新館①	星 永進		高橋 伸政		齋藤 雄一	池谷 朋彦	池谷 朋彦			諸岡 宏明	
	新館②	揖斐 孝之									堀内 翔	
消化器外科	新館③	神山 陽一				豊増 嘉高					神山 陽一	
	治療棟	洲川 明久				洲川 明久					洲川 明久	
放射線科	RI・ RI-2 RI-3	叶内 哲	叶内 哲			松本 寛子	松本 寛子	松本 寛子				
	RI-4	松本 寛子	松本 寛子									
	RI-5											

※ 初診の方は、上記スケジュールにかかわらず、原則として11時までには受付してください。
ただし、放射線科は、月曜・水曜の午後のみ受け付けます。

埼玉県立循環器・呼吸器病センター

〒360-0197 熊谷市坂井1696 TEL 048-536-9900

* 当センターでは、近日中に予約専用電話の
開設を予定しています。
詳しくは、別途お知らせいたします。